

「国土を守る」

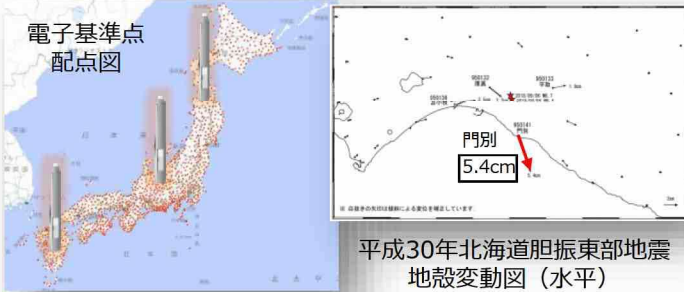
災害時は迅速に対応

国土地理院は、災害対策基本法に基づく指定行政機関及び指定地方行政機関として、測量・地図分野の最新技術を活用し、地殻変動の把握・分析、被災状況の把握・分析を行い、関係機関や被災地方公共団体に情報をわかりやすく提供しています。

地殻変動の把握・分析・公開

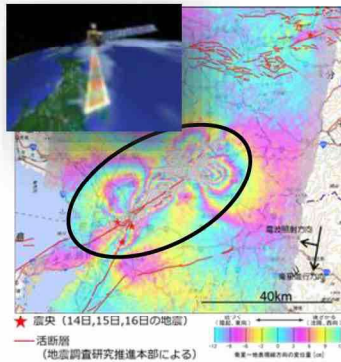
➤ 電子基準点による地殻変動監視

全国約1,300箇所に設置している電子基準点で、24時間365日観測し、日々解析することで地殻変動の監視を実施しています。



➤ 衛星による観測

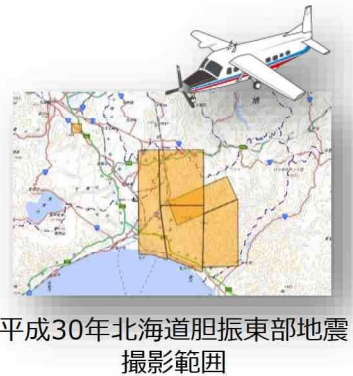
人工衛星「だいち2号」により、宇宙から地球表面の変動を監視し、地震や火山噴火に伴う地球表面の変動を目で見える形でとらえることができます。



被災状況の把握・分析・公開

➤ 空中写真の撮影

大規模な自然災害発生時には、状況に応じて緊急撮影を実施します。被災箇所を撮影することで、災害査定や罹災証明の調査に活用できます。



➤ 判読による状況把握

災害時に撮影した空中写真等をもとに写真判読を実施し、被害箇所を抽出し判読図を提供します。



情報を分かりやすく提供

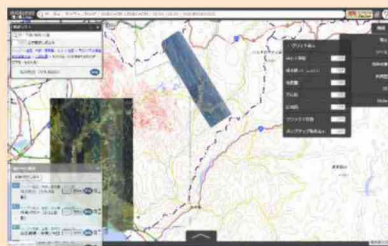
情報を直接提供

- （内容、使用方法の説明）
- ・関係機関、地方公共団体



地理院地図による情報提供

- ・関係機関、国民



災害時の対応で活用

- ・地方公共団体
- ・現地対策本部 等



国土地理院HP「平成30年北海道胆振東部地震」に関する情報
<https://www.gsi.go.jp/BOUSAI/H30-hokkaidoiburi-east-earthquake-index.html>

